



かぜっこだより



2019年10月11日 第6号 文責：納所小学校長 福田 浩一郎

学校教育目標 「心豊かに自ら学び 生き生きと活動する納所っ子の育成」



～ とともに 伸びる 教育活動の実現 ～

「の」…のぞみをもって がんばる子 「う」…うつくしい心で 思いやりのある子 「さ」…さわやかで たくましい子

参観、ありがとうございました。

10月の授業参観を昨日（10日）に実施したところ、多くの保護者に参観していただきました。のべ65名の参加でした。お忙しい中においでいただき、ありがとうございました。



「しつけ」で生活習慣病の予防を

ある雑誌の中原秀臣先生（新渡戸文化短大名誉学長）が書いていた記事を紹介します。

「しつけ」は「身」を「美しく」ということで「躰」と書きます。（中略）子どもに「しつけ」をする最大の目的は、「危険の回避」といわれています。子どもに「道路は右側を歩きなさい」とか「信号が赤になったら道路を渡ってはいけません」と教えるのは、子ども達の安全のためです。もう一つ子どもに大切な「しつけ」があります。それは、健康で長生きするための「しつけ」です。例えば、食べ物の好き嫌いをなくすような「しつけ」は、栄養のバランスのとれた食事をとることにつながるの、健康で成長するために必要なことです。歯磨きを毎日するという習慣を身につけるのも健康のためです。健康で長生きするための「しつけ」には、医学的な根拠があります。例えば、野菜を十分に食べることは、大腸がんの予防になります。野菜に多く含まれている抗酸化物質には、大腸がんや心筋梗塞のリスクを減少させる働きがあるのです。（後略）

「しつけ」について書かれていて、読んだ時に思わず、「そうだなあ。」と思ったので紹介しました。

パーカッションアンサンブル に びっくりです。



九州初のプロ吹奏楽団「九州管楽合奏団」からマリimba奏者2名と打楽器奏者1名が納所小学校に来られました。

演奏者が次々と登場してきた時、小太鼓をそれぞれが叩き始めると、とても楽しい気持ちになりました。

マリimbaの演奏は、音色がきれいで素早く、お姉さんたちの動きと音にびっくりしました。さらに、マリimbaを移動させながらの演奏やバチを片手に2本3本持つての演奏に驚かされました。

子どもの何名かにウッドブロックを叩かせたり、マリimbaの音を出させたり、音楽に親しめるように参加させてくれました。子ども達がよく知っている、アニメ映画の音楽（ジブリ作品メドレー）もたくさん演奏してくださり、みんな喜んでいました。

アンコールでは「パプリカ」をみんなで歌いました。2年生が踊れるということで、急遽みんなの前に立ち、即席「かぜっこダンサーズ」に変身しました。とても楽しい時間を過ごすことができました。



明治のミルク教室(1年生と2年生の親子レク)



乳製品のメーカーである、明治から栄養士さんに来ていただき、ミルク教室が行われました。西日本支社が福岡にあり、主に北部九州の学校に出向いて

いるということでした。たまには、熊本や宮崎、鹿児島まで出かけることもあるということでした。

乳牛のこと、栄養素のカルシウムのこと、体の骨のことなどを話していただきました。

その後、親子レクで、牛乳とレモン果汁を使った「ラッシー」(インドの飲み物)というヨーグルトの一種を作って、楽しみました。量を正確に測れば、あとは簡単にヨーグルトが出来上がるのは不思議な感じでした。

プロ将棋の棋士がやってきます。 10月31日 3.4校時

「将棋日本シリーズ テーブルマーク プロ棋士訪問授業」で、中田 功八段 と 武富礼衣女流初段の2名が納所小学校にやってきます。将棋教室を体育館で行い、全校児童が参加します。将棋のプロ棋士から、いろいろなお話も聞けそうですので、きっと子どもたちの心に響くものと思います。保護者の方も時間がありましたら、見学に来られませんか？

しゃみせん いろいろ(県青少年劇場) 5・6年生が鑑賞

10月16日(水)の午後肥前文化会館(ハーモニー)で、佐賀県事業の青少年劇場が行われます。唐津市では、2会場で行われるうちの1会場が、肥前町で行われます。内容は、三味線の演奏家による、音楽鑑賞会です。肥前中学校、入野小学校、田野小学校など他校の児童生徒と一緒に鑑賞します。二人の奏者(上原潤之助:音楽大学講師や音楽イベントの指導をしている、小山慶宗:海外や国内の音楽活動に取り組んでいる)が来られて、三味線でいろいろなジャンルの曲を演奏してもらえることになっています。子ども達の音楽に対して貴重な体験になればいいなと思います。